



1万3000枚を超える眼底画像データセット公開

2019年7月26日(金)

社会医療法人三栄会ツカザキ病院眼科(兵庫県姫路市)人工知能グループエンジニアチーフで眼科医の升本浩紀氏らの研究グループは7月25日、1万3000枚を超える眼底画像のデータセットを公開した。データセットは[こちら](#)から入手できる。

「Tsukazaki Optos Public project」と名付けられたこの研究で作成されたデータセットは、2011年10月から2018年9月までの間にツカザキ病院眼科を受診した5389人の患者から得られた13047枚の眼底画像で構成される。これらの画像は、「超広角眼底撮影装置(Optos200Tx)」とい

う、従来型眼底カメラの4倍以上の画角を持ち、わずか2mmの自然瞳孔下から眼底の80%のエリアを撮影可能な装置で撮影された。

このデータセットには、健常人の眼底画像(4894枚)に加え、加齢黄斑変性(413枚)、網膜静脈閉塞症(778枚)、緑内障(2619枚)、黄斑円孔(222枚)、糖尿病性網膜症(3323枚)、網膜剥離(974枚)、網膜色素変性症(258枚)、網膜動脈閉塞症(21枚)および糖尿病(3895枚)の9疾患の画像が含まれる。

今回の研究成果を受けて升本氏は「Tsukazaki Optos Public projectは世界最大規模かつ、史上初のOptos画像データセットである。この研究を皮切りに、日本の眼科のみならず医療全体に、オープンソース化の流れを持ち込んでいきたい」と述べる。



宮内 諭
m3.com編集部

関連カテゴリー

[画像診断支援](#)[ニュース](#)[眼科](#)

参加募集中のAIラボプロジェクト



医療×AIセミナーシリーズ第8回
「医療者がゼロから学ぶ、AI・データサイエンス...」

関連するAIラボニュース



老眼克服？ 自動で焦点を合わせる「スマート眼鏡」開発

NEW 2019年7月25日(木)

M3 Supported 2019年7月25日(木)



【締め切りました】医療×AIセミナーシリーズ第7回「臨床現場を効率化するAI...」

M3 Supported 2019年6月20日(木)



【締め切りました】医療×AIセミナーシリーズ第6回 シンポジウム「医療AIの臨...

M3 Supported 2019年5月10日(金)



胸部X線画像のAI診断エンジンを作ってみた

M3 Supported 2018年9月6日(木)



「Alexaが患者の咳をモニタリング、肺がん早期発見へ」「静注、誰でも簡単にす...

2019年7月19日(金)



点眼薬の服薬状況を自動で把握するAI、誤検知ゼロ

2019年7月18日(木)



角膜潰瘍を治療するコンタクトレンズを開発

2019年7月17日(水)

[AIラボニュース一覧 >](#)

[AIラボ プロジェクト一覧 >](#)